

DynamicBoot 導入事例

小・中学校の事例



情報漏えい対策強化！！

先生が安心してメールを開ける環境に

課 題

- ① 校務PCからの重要データの情報漏えいをさせたくない。
- ② なりすましメールが多く、先生がメールを開くことに不安を持っている。
- ③ 外部からの不正アクセスによる、情報流出を防ぎたい。
- ④ Windowsアップデートやウイルス対策ソフトのパターンファイル更新を夜間に行っているが、必ず数台が更新に失敗する。

DynamicBootを
導入しました

システム構成

- ・ ノートパソコン(Windows 8.1) 630台(各校35台) ネットワーク：1Gbpsで校務系ネットワークに接続
- ・ ソフトウェア：Office2013、校務ソフト

方 法

- ① 万が一偽装メールを開いて、不正アクセス用ウイルスに感染しても、コンピュータの再起動で感染前の状態に戻せます。
- ② USBメモリ等の外部デバイスの使用を禁止します。



導入の効果

- ① 偽装メールを利用した、外部からの不正アクセスによる情報流出のリスクが軽減しました。
- ② USBメモリを使用禁止にしたため、USBメモリによるウイルス感染もなくなり、さらに重要データ持ち出しによる情報漏えいのリスクが軽減しました。
- ③ 校務パソコンをシンクライアント化したことによりHDDを使用しないため、重要データをサーバーに一括管理できました。
- ④ Windowsアップデートやウイルス対策ソフトのパターンファイルの更新は一台のPCだけで行えばよいので、更新の失敗がなくなりました。

【教育センター担当者からのコメント】

ここ最近、なりすましメールが増えているので、情報漏えいしないか心配でした。DynamicBootを利用し、外部からの不正アクセスについても強化でき、先生方も安心してメールを開くことができるようになりました。

詳細については、当社までお問い合わせください。

DynamicBoot 製品サイト

<http://www.ces-p.jp/db/>



コンピュータエデュケーションシステム株式会社
Computer Education System Inc.

〒292-0827

千葉県木更津市港南台3-1-1

TEL : 0438-30-0031 FAX : 0438-30-0036

Web Site : <http://www.cs-grp.co.jp/ces/>

mail : m-nishimura@cs-grp.co.jp